

| 野菜の管理について

1.

浸水・冠水した圃場は、土壌水分が著しく多くなっているため、この状態が続くと気温が上昇すると、根傷みを起こし生育不良につながります。早急に排水溝・暗渠・明渠など確認し排水を促してください。

2.

日照不足や根傷みにより樹勢が低下しているため、葉面散布を行い樹勢回復させましょう。圃場排水が進み、過剰な水分がなくなり土壌状態が良くなってきたら、露地野菜は固形肥料で少量ずつ追肥、施設栽培は液肥の灌水を行います。

3.

土壌の過湿、日照不足による生育低下や今後の高温多湿により、根腐れ病、疫病、軟腐病などの病害の発生が多くなると予想されますので薬剤散布をしましょう。

野菜の品目により薬剤が異なりますので、薬剤については各地域の品目担当へ確認をお願いします。軟弱な成育をしているため薬害が心配されますので、薬剤の多種混合は避け散布は朝夕の涼しい時間に行いましょう。

4.

酸素供給剤の施用は根の回復を促すため有効と思われます。

生育不良などご心配な点がありましたら、各営農センター園芸特産課までご連絡をお願い致します